



「竣工後6年が経過しても杉の香りが空間に溢れるすまい」

とのことで、クーラーが一台も設置していませんが、快適に過ごしていますとのこと。そんなお話を聞くと改めて木の良さに共感します。東灘区の街中にあり限られた敷地内で生活動線が必要最低限のコンパクト（無駄な動き無くす）に収めることを考え、どうしても室内で洗濯物を干さないといけないような時でも、今までに住んでいた家なら内干すると、嫌なおいがしていましたが、嫌なおいがしないですと奥様からのお話をいただき、杉の調湿、保温、芳香、殺菌作用により家中の空気をクリーンに保たれている証拠だと思えます。お二人の笑顔を見て木のすまいにこだわって頂きそれを実現されて「正解」でしたと云われ、建築屋冥利に尽きると同時に、ひようご木のすまいの家をもっと多くの人に知って頂ければと感じる今日この頃です……。

木のすまい仕様の家



お客様との出会いはひようご木のすまいの潮芦屋モデルハウス完成時にお越し頂いたのがきっかけで家づくりのお手伝いをさせていただき、ひようご木のすまい協議会発足後、初めてのお客様でした。Hさまご夫妻は普段から森林ボランティアに参加されるなど自然の愛好者で家造りのコンセプトも自然素材に囲まれた家で「風が通りぬける家」が条件でした。床には杉板の厚み30ミリのフローリングを施し、感触が気持ちいいと素足での生活を送られています。夏場でも外から帰ってきて窓を開けるとすぐに熱気が抜け

呼吸をする家。

日本の家の最大の特徴は呼吸をするといふことがあげられます。その意味合いには二つあり、一つは建材の木、藁、土、紙などが空気や湿気を吸ったり吐いたりすることです。屋根に厚く葺いた茅は空気を層を持ち、木も紙も土も、空気や湿気の吸収能力を持ち、空気が乾燥すれば湿気を吐き出して乾燥を和らげ、湿度が高くなれば湿気を吸収する。一枚の障子紙でさえ天候の変化によって収縮したり弛みが出たりするように、日本の建築材料は外気に対応して吸放湿するため、室内の湿度が調整され、結露が生じ難くなっています。

もう一つの意味は、室内の換気がよく、常に内と外との空気の流れが保たれていることです。これは高気密とは相反します。植物性の材料は呼吸を止めるとカビやダニなどが発生し、やがて腐食につながるため、高気密で密閉するようになり方々には不向きなものです。つまり昔から日本の住宅には、自然を使って自然をコントロールする考え方があり、逆にこの要素をうまくコントロールできれば、快適な温熱環境をつくりだすことができるのです。

ひようご木のすまい協議会
会長 三渡 圭介

【兵庫県林務課からのお知らせ】

県産木材利用融資がさらに使い易くなりました。

従来の融資条件に加え、環境配慮型住宅であれば、融資限度額が拡充されます。

- 新築・増改築
最高融資額：2,700万円（返済期間25年以内）
 - リフォーム
最高融資額：900万円（返済期間10年以内）
- ※いずれも融資金利は平成22年度上半期1.7%固定。環境配慮型住宅の条件は下記のホームページをご覧ください。
URL : <http://web.pref.hyogo.jp/>

— ひようご木のすまい協議会のイベントご案内 —

●ひようごの木で家を作る『家づくりセミナー』（第9期）

兵庫県産の木材を利用した家づくりを学ぶ「家づくりセミナー」を開催します。再生産可能で産地や性能・品質が明確な県産木材を活用した住まいライフスタイルを提供します。計5回の講座を通し、木の家の良さや家づくりを進めていく上でのポイントを図解や映像を活用し解り易く解説します。

- ・開催日
【第1回】H22年 7月31日（土）
【第2回】H22年 8月28日（土）
【第3回】H22年 9月25日（土）
【第4回】H22年10月30日（土）
【第5回】H22年11月27日（土）
 - ・時間 13:00～15:30
 - ・費用 5,000円（5回分）
 - ・場所 神戸 兵庫県民会館
- ※詳しくはお問合せ下さい。



小冊子「キノコイェノコ ひようご2010」

「ひようごの木を使った木の家」について、ユーザーの話や兵庫県林務課の話などが、掲載されています。ひようご木のすまい協議会メンバーの紹介の「頼れる工務店、見てある記」では、より良くひようご木のすまい協議会を理解していただく内容となっております。

※小冊子「キノコイェノコ」ご希望の方は事務局まで～送り先を事務局までお知らせ下さい。